**皆さまの声（コロナ禍の時代を振り返る）**

**～（A）調査票～**

2021年7月25日

北海道女性研究者の会「通信77号」特集企画ワーキンググループ

「会員の声」募集担当：山舗直子、山田惠子、新國三千代

予想を遥かに越えた長いコロナ禍のなかで、新たな気づき（発見）、生活スタイルの変化、働き方の変化、それらの経験を通して見えて来た社会のあり方に対する思いや期待、そしてコロナ収束後の生活や社会のあり方に対する希望などについて、会員の皆様の声を募集します。質問の内容は昨年と同じものもありますが、現在のお気持ちやお考えを記していただくことで、昨年との比較などもできると思います。

・各項目100字～400字程度で記入してください。回答可能な項目のみの記入で結構です。

・回答欄は適当に拡大/縮小して記入してください。

お寄せいただいた回答は、文章に手を加えることなく、体裁を整えて並べて通信に掲載します。その際、記名（イニシャル・愛称も含む）あるいは無記名にするかは回答者のご希望に沿います。

回答日：2021年　　月　　日

回答者名：　　　　　　　　　、通信掲載時の記名：

（イニシャル・愛称可。無記名を希望する場合は無記名と記入）

Ⅰ．昨年から続くコロナ禍の中で、働き方や生活スタイルの変化を余儀なくされました。ただその「変化」は会員のおかれた環境によって様々であると考えます。

あなたの社会的な立場について、下記の中から選んで下さい（複数の選択可）。なおその他を選択された方は、差し支えない範囲で具体的な内容を（　）内にご記入下さい。

1. 有職者（　・教育関係　　・研究関係　　・会社関係　　・その他（　　　　　　　　）
2. パートタイム（　・非常勤講師　　・研究　　・会社関係　　・その他（　　　　　　　）

Ⅱ．以下の設問にご記入下さい。記入できる箇所へのご記入で構いません。

１. 現在のあなたの状況についての設問です。

（１）働き方の変化や気づき（困ったことや不便だったことも含む）について、具体的に記入して下さい。

（２）日常の生活や家庭におけるライフスタイルの変化や価値観の変化などの気づきについて、具体的に記入して下さい。

（３）Ⅰの ① で教育、Ⅰの ②で非常勤講師を選択した方に下記の２点についてお聞きします。

① オンラインによる授業を余儀なくされた方も多いと思いますが、それらの利点と欠点についてのお考えをお聞かせ下さい。

② 今までと異なる授業形態に対する学生の反応（感想）についてお聞かせ下さい。

２. コロナ禍の時代が長引くにつれ、様々な格差（経済格差、教育格差、健康格差,男女格差など）が浮き彫りになってきました。ご自身が一番気になっている格差についてのご意見を伺います。

３．政府や医療機関からの様々な情報提供や対策のあり方（緊急事態宣言やワクチン接種、感染症対策など）に対して、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

４. コロナ禍の収束にむけて、今自分たちがなすべきことに関して具体的なお考えがありましたら、ご記入下さい。

５．新型コロナウイルスによる新興感染症パンデミックに対して、なぜ、世界が、日本が、このように苦戦しているのか、そのような状況を招いた要因や我々人類の生き方などについて、どのような切り口でも結構ですので、ご意見がありましたら記入してください。

６．コロナ禍を経験している今、今後の社会に望むこと、社会のあり方・ご自身の生き方などに対する希望や期待について、お考えをお聞かせ下さい。

７．その他（自由にお書きください）

なお、各項目の内容が400字を越える場合は、（B）自由投稿に原稿をお寄せ下さい。

【締切】

9月末

【送り先・問い合わせ先】

nikkuni@sgu.ac.jp （新國三千代が担当窓口として対応）